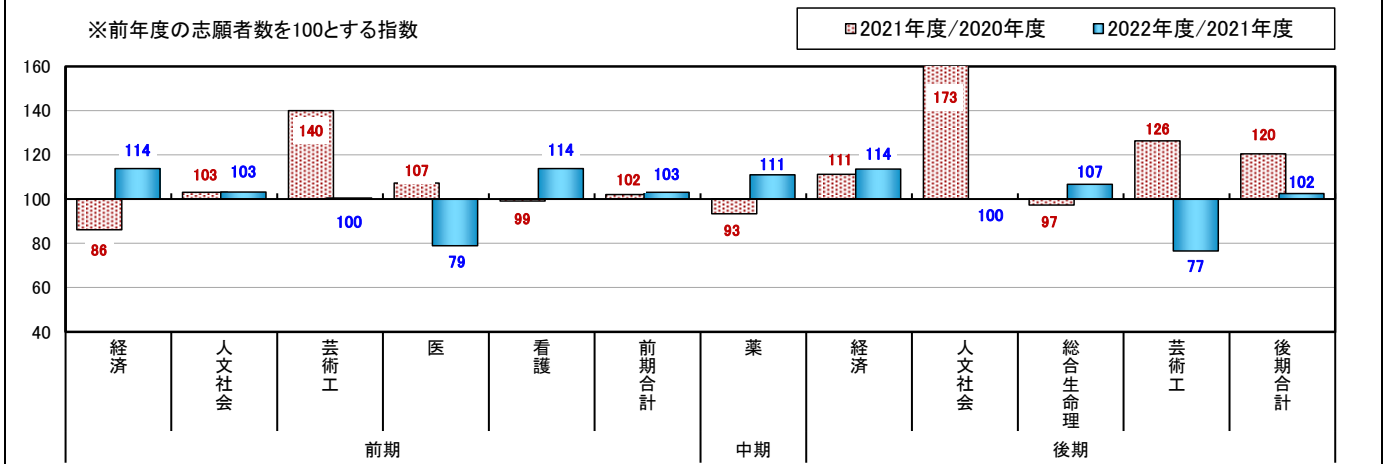


## 名古屋市立大：中期は前年度の反動で増加

前期：+40人 中期：+116人 後期：+36人



## 主な入試変更点

第1段階選抜基準変更：医(医)〈前〉…共通テストの合計が550点満点中概ね75%以上  
→共通テストの合計が550点満点中概ね73%以上

## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は40人(103)のやや増加で2年連続増加。後期は、前年度大幅増加の反動はなく、さらに36人(102)の微増。中期は薬のみの募集だが116人(111)の増加、学科別では(薬)(112)は2年ぶりに増加、(生命薬科学)(110)は前年度減少の反動で増加。

## 〈前期日程〉

- 経済(114)は、2年連続減少の反動で増加。
- 人文社会(103)は、2年連続やや増加。学科別では、(国際文化)(113)は2年連続増加、(心理教育)(111)は2年連続減少の反動で増加。一方で、(現代社会)(89)は減少。
- 芸術工(100)は、前年度大幅増加の反動はなく前年度並。学科別では、(建築都市デザイン)(119)は2年連続大幅増加。(産業イノベーション)(102)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。一方で、(情報環境デザイン)(71)は前年度は個別試験で実技の他に小論文での受験も可能になったこともあり激増したが、反動で大幅減少。
- 医(79)は、第1段階選抜について、1月20日に基準点を、共通テストの総合点550点中390点以上(概ね71%以上)に緩和すると大学より発表があったが、それでも共通テスト平均点の大幅ダウンにより、従来は考えられなかった基準点をクリアできない志望者がいたことに加えて、2年連続増加の反動で大幅減少。なお、第1段階選抜の合格率は92.1%。
- 看護(114)は増加で、3年ぶりに増加に転じた。

## 〈後期日程〉

- 経済(114)は、2年連続増加。方式別では、〈Eコース〉(130)が3年連続減少の反動で大幅増加。〈Mコース〉(101)は前年度大幅増加した反動はなく前年度並。
- 人文社会(100)は、前年度激増の反動はなく前年度並。学科別では、(心理教育)(131)は2年連続大幅増加。志願倍率も8.4倍→11.0倍にアップ。(国際文化)(105)は前年度激増の反動はなくやや増加で2年連続増加。一方で、(現代社会)(67)は前年度倍増以上の反動で大幅減少。
- 総合生命理(107)は、後期のみの募集だがやや増加。
- 芸術工(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(情報環境デザイン)(69)は3年連続大幅減少。(建築都市デザイン)(73)も前年度大幅増加の反動で大幅減少。(産業イノベーション)(89)は前年度大幅増加の反動で減少。